

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	脊髄・脊椎手術における髄液漏予防の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 脳神経外科 准教授 重川 誠二
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2029 年 12 月 31 日
対象となる方	2019年10月から2025年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち脊髄・脊椎疾患と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況
研究の概要 (目的・方法)	2019年10月から2025年12月までに当施設で研究責任者が執刀し、硬膜閉鎖が必要だった症例(術中の予期せぬ硬膜損傷を含む)144症例(脊髄腫瘍124例、硬膜動静脈瘻6例、くも膜嚢胞4例、その他10例)を対象とし後方視的に検討します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2026年1月19日 第1版

	一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院脳神経外科 重川 誠二 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5338